

こしば
新聞

令和2年7月28日(火) 23号

感染を正しく恐れるために確かな情報を！

区内感染率は
7.1%

品川区では318人が累計で新型コロナウイルスに感染しました。(27日時点)テレビでは感染者の数が連日報道されニュース速報される毎日です。品川区ではこれまでに3732人が検査をして318人が感染しました。全体の中で感染者は平均して7%です。3月の最終週では陽性率が35%を超えている一方で、4月末から今月中旬にいたるまで5%にも満たないものでした。今月中旬以降の陽性率が5%を超えているので注意すべきです。が3月上旬から4月下旬までのおよそ2か月

に比べれば圧倒的に陽性率が少ないという結果が出ています。理由は検査を受ける条件が緩和されてきたのが大きいと考えられます。そうであっても感染者数が増えているので多くの方がその数に恐怖感を抱いています。が全体の数に照らせば、陽性率は低いのです。さらにいえばその陽性と判断された方262人の中で回復された方は220人ほどです。入院中の方は20人ほどです。こういう数字を踏んだうえでコロナを客観的に恐れるべきです。しっかりとマスクの着用や手指のアルコール消毒を心掛けること、密集したうえでの活動をさけることを心掛けましょう。

※7月17日までの統計です。区のHPから引用

区内でクラスターが発生

品川区は27日東大井5丁目の複数の飲食店でクラスターが発生したことを発表。感染した客が飲食店を利用したことで感染が拡大したと、従業員や客を含めて5名が感染した模様です。(27日、区のHPから引用)

区内で初めてクラスターの発生が確認されたことから、28日から当該店舗のある地域の飲食店など約200軒に対して保健所職員による個別訪問を行い、感染予防の注意喚起や具体的な対策の呼びかけを行います。区民の皆様には風評に惑わされることなく確かな情報を取り入れてコロナ

政策要望

を正しく恐れてマスク・アルコール消毒・3密の回避に努めていただきますようお願いいたします。

区議会自民党は7月21日に濱野健区長に4回目となる緊急要望を提出しました。主要な要望は次の通り。

1、特別定額給付金の給付率の遅れを検証しながら活力応援給付金を8月中旬に給付できる体制の構築

2、防災対策

・避難所の拡大
・避難所マニュアルの見直し

3、保健所機能の強化



【お問い合わせ先】

小芝新事務所
〒140-0014
品川区大井5-6-2-101
☎090-6106-2272
Fax03-6303-7037

※ご希望の方には新聞をお届け致しますので、ご連絡願います。



新聞のバックナンバーはHPに掲載しています。

区議会自民党が主導した3回目の要望の結果、区独自の定額給付金(しながわ活力応援給付金)は実現しました。5月下旬から申請が始まった国の給付金支給については、「地域の方からは「振込が遅い」という声を聞いておりました。担当部署では3密を回避しながらも深夜に及ぶ作業を続けていく中で、こうした声が区民から挙がってきたことはどこかに必ず検証すべき点があるはずだ。そういう点を綿密に検証したうえで、来月から始まる、しながわ活力応援給付金の支給についてはより迅速に行われるよう、この要望をどの要望よりも優先して区長に届けました。(終わり)